

## 《解説》 「地球への恩返し」

- ・地球の真実の姿や地球環境の事実を知っていますか？
- ・わたしたち教職員には、何ができるのでしょうか？
- ・地球にとっていいことは何でしょうか？
- ・できることから、始めてみませんか！！

### 1. 【日本の食糧自給率…飼料用を含む穀物全体の自給率 (農水省食糧需給表より)】

1975年	40%
2005年	27%

日本で食糧輸入が途絶すると

**1年後、3,000万人の餓死者！！** (1978年試算)

「オゾン層破壊による紫外線B量増加による作物減」と  
「地球温暖化による世界の農作地の減少」の危機が迫っている現在  
食料輸入途絶は近未来に起こりえる状況となっています。

### 2. 【日本の食糧事情 (2005年「地球村」の資料より抜粋)】

- ・日本は年間 5,800 万トンの食糧を輸入し、1,940 万トンを残飯や生ゴミとして捨てています。
- ・年間の世界の食糧援助総量は 740 万トンにのぼる一方で、1年間で 5,000 万人分の食糧を捨てています。
- ・食料としてもったいないだけでなく、大量のゴミを焼却し、ダイオキシンや地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素を増やすことにつながっています。

**<食料自給率を上げることにつながり、ゴミを減らすことにつながり、食糧援助につながる何かいいアイデアはないでしょうか？>**

教材集編成委員会で協議した結果、「地球への恩返し」としてあるものが浮上してきました。

**それは、「土」です。**

たとえば、土に対する理解や経験が深まれば安全な農業への理解が深まり、消費が増え、農業の復活の一役を担い、自給率が上がるのでは？また、自然界の物が「土にかえる」ことを知り体験することで、いかに捨てなくていい物まで捨てているのかが見え、ゴミ減量化のヒントになるのでは？

さらに、これは行政の課題となるのだろうけど、ゴミが減れば、ゴミ処理費が減り、その分を食糧援助費として使い、食糧援助できるのではないか？等々、地球に安全な土をかえすことで、温暖化防止・地表の復活という恩返しです。

さまざまなアイデアをつくり出す糸口として、ここにいくつかの教材のヒントを載せます。

① から④までの4つの教材ですが、ぜひ、参考にされ、子どもたちとの学習づくり、また、一人の社会人としての行動の参考となれば幸いです。

## 自然界の土の再生力・復元力

○A～Dまでの繰り返しという自然界の再生力、バランス等全体を学習

### A. 土づくり

- ①土づくり…おいしい野菜をつくりたいな－(小学校低学年)
- ②生分解性の実験と土壌動物(小学校高学年)  
土を作ったのはだれだ？[小学生のための楽しい体験教材]

### B. 野菜育て

無農薬のための工夫、おいしい野菜作り  
(ゲストティーチャーにおねがいしてみよう)  
むした草も土にかえる。

### C. 収穫

収穫後の草やつるも土にかえる。

### D. 料理とあとしまつ

- ③チャレンジエコクッキング(小学校中・高学年)  
材料を無駄なく使いいきり、それでも残ったものは土にもどそう！

### ④ 地球への恩返しⅡ(リサイクル編)(中学校)

※「地球への恩返しⅠ」は1998年10月「子どもたちの未来のために」の学習資料として出されています。